

あのとときの常呂・写真館

VOL 131

(1995年)

平成7年11月19日

常呂小学校100周年記念式典

▶明治28年に常呂小学校の前身である常呂教育所が設立されてから100周年の記念式典がこの日行われました。常呂小学校の100年の歴史や式典のプログラムは、最後に添付した広報や『常呂小学校百周年記念誌』に譲り、ここでは式典と校舎の移りかわりを写真で紹介します。



*この年、常呂小学校百周年として、5月26日/シダレヤナギの治療、6月30日/全校生徒顔写真撮影、6月23日/百周年記念人文字・航空写真撮影がありました。





明治43年の常呂尋常小学校校舎と児童・教員



大正時代の常呂小学校校舎（現在地）と運動会



昭和40年10月13日撮影の常呂小学校校舎航空写真



上：昭和51年の常呂小学校校舎と津波避難訓練

*新校舎を建設する少し前の常呂小学校校舎



普通教室

放送室

職員玄関



児童玄関

体育館玄関

*新校舎建設前の常呂小学校の校舎は、児童数の増加に伴い増築したこともあり、入り組んだ形になっています。この写真からは見えないところに教室がいくつかありました。



昭和55年11月の常呂小学校新校舎完成直後

- *左側に解体前の旧校舎（校長室・職員室・図書室など）が見えます
- *旧体育館（上）と新体育館（下）が対比できる常呂小学校校舎の写真
- *平成6年5月12日、「さよなら常呂小学校体育館記念映画会」が行われ、山田洋次監督の「学校」を上映し、500人が参加しました。（広報ところ）





* 中央奥が児童玄関、体育館が右側

* 新しい体育館のオープン式は、平成7年1月21日に行われました。
(広報ところ)

上・下とも平成7年11月19日の屋外モニュメント除幕式の写真



中央に屋外モニュメント
左にシダレヤナギの木

開校100年

百年の歴史を積み重ね
二十一世紀の扉が開く

喜びの中、記念式典を挙



十一月十九日、秋晴れの晴天のなか、常呂小学校開校百年の記念式典が挙行されました。

常呂小学校の前身である三年制の常呂教育所が設立されたのが、今から百年前の明治二十八年。当時の通学区域の戸数は百二十二戸で、児童数は男七名女八名の計十五人での開始でした。

その後、明治三十三年に小学校令に準拠した四年制の常呂尋常小学校になり、大正六年に現在の場所に新しい校舎が建設されました。

昭和十六年、尋常小学校から国民学校へと名前が変わりました。この

年、太平洋戦争が始まり、日本全体が戦争一色に変わっていき、学校の授業に代わって、援農や防空壕作りなどが行われたこともありました。

終戦後は昭和二十二年の教育基本法の下、民主的平和教育が始められ、同年に発足したPTAを中心に学校・教員と父兄・家庭との協力による民主教育が推進されていき、昭和三十四年には十七学級八百一名の開校以来の最大児童数となりましたが、三十六年には常呂町が過疎化に入り、以降急速な児童減少が進み、現在に至っています。

本年の在校児童数は二百八十七名、卒業生は五千二百余名。



校木とも言うべき「しだれ柳」。学校と子どもたちを見守ってきた。これからも、そうあって欲しい。

常呂小学校では昨年から現PTA
 父母と、同窓生が集まり、記念事業
 協賛会を組織して、色々な記念事業
 を進めてきました。

記念事業は、環境整備事業として

・校庭の柳の木の治療保存

・モニユメントの設置

を行ったほか、新校旗の作成、記念
 誌の発行、その他の事業として、マ
 スコットキャラクターの募集や百周
 年スローガンの制定、記念影絵上映
 会などを行ってきました。

なかでも、モニユメントの作成は、
 子どもたちが書いた下絵を粘土にな
 ぞり、彫り上げてゆく作業を、父母・
 先生たちが共同で行い作り上げたも
 ので、子どもたちばかりでなく父母
 にも記念すべきモニユメントになっ
 たようです。



子どもたちと、父母の手で作られ
 上げられたモニユメントの除幕式が式
 典に先立ち行われ、式典では開校百
 周年記念事業協賛会新谷淳治会長と、
 田中司郎校長の式辞が読み上げられ
 続いて協賛会副会長の浦西孝浩さん
 から事業報告がなされました。
 式典の最後には、児童会長の村岡
 竜也くんがお礼のことばを読み上げ
 式典は無事終了しました。

式典後のアトラクションは、全校
 児童の音楽や呼びかけで綴る「常呂
 小百年くいまと昔、そして未来へ」
 が演じられました。



オープニングの合唱、常呂町の美
 しい自然のスライドが上映された後、
 五部からなる常呂小の歴史が始まり
 ました。明治の開校初期の様子を劇
 で表現したり、時代時代の出来事を
 大きな声で呼びかけたりの、素晴ら
 しいアトラクションで、来賓や父母
 の拍手はしばらく鳴り止みませんで
 した。

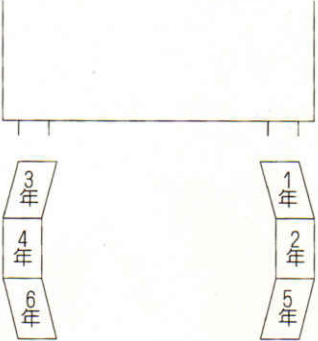
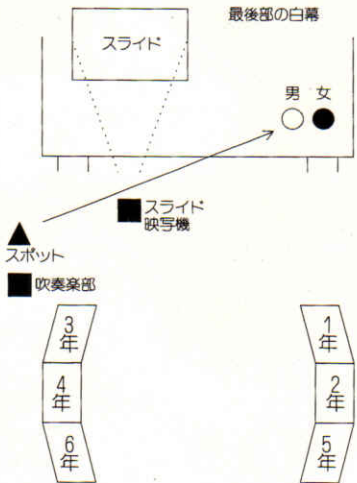

開校百年の節目の式を終え、二百
 年への歩みが始まりました。
 「オホーツクの地に百年・二十一
 世紀の扉を開けよう」とのスロ
 ーガンのように、子どもたちは新し
 い伝統を築いていって
 くれるでしょう。



常呂小学校開校100周年記念事業

全校児童の音楽や呼びかけで綴る

「常呂小百年～いまと昔、そして未来へ」

時 間	群読・合唱（シナリオ）	照明・音響効果等	指導上の留意点
	<p>◎入場・整列 ◎オープニングの歌 「気球に乗ってどこまでも」 (吹奏楽部伴奏・全校合唱)</p> <p>気球に乗ってどこまでも～パート 〔高音部～1年・2年・5年〕 〔低音部～3年・4年・6年〕</p>	<p>暗幕しめたまま 照明 (会場全部ON)</p> <p>♩ 歌が終了しだい 照明全部OFF</p>	 <p style="text-align: center;">客 席</p>
	<p>(1)『常呂町の美しい自然』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくたちの目の前には() ・サロマンブルーのオホーツク海。() ・わたしたちのまわりには() ・美しい花々が咲き乱れる() ・すばらしい自然。() ・見渡せば豊かな実りを与えてくれる() ・広々とした大地。() ・太古の昔から、() ・このめぐまれた環境の中で、() ・数多くの人たちが、() ・数多くの歴史をかさね、() ・今、わたしたちへ() ・そして未来へとつづいていきます。() <p>(2)合唱『常呂讃歌』(S50年)</p>	<p>ナレーション (5年生児童) 男() 女()</p> <p>CDカテーブ 「川のせせらぎ、 小鳥のさえずり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗幕しめたまま ・照明なし <p>スライド (工藤T撮影) オホーツク海 サロマン湖 ワッカ原生花園 遺跡群 森林公園 広大な畑</p> <p>ピアノ(平野T)</p>	 <p style="text-align: center;">客 席</p> <p style="text-align: center;">以下、並び方は同じ。</p>
	<p>(3)『常呂小の歴史』(第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常呂小学校は、() ・常呂教育所として作られました。() ・いまからちょうど百年前、() ・明治28年のことです。() ・その頃は、男子7人、女子8人、先生は1人という小さな学校でした。() ・勉強は、国語、算術、書き方の3科目。() ・夏は木綿の服とぞうり、() ・冬は綿入れの着物とわらぐつで学校に通ったそうです。() 		<p>スライドが終了しだい幕を閉め、教室の風景のセットを 遮る。道具、服装は、当時の物をできるだけ取り入れる。</p>  <p style="text-align: center;">客 席</p> <p>呼びかけは、6年生がその場に立って行う。</p>

- ・学校までのとちゆうで、()
- ・熊が出る心配をしたり、()
- ・橋がなくて渡し船を使ったりしたそうです。()

・では、このころの小学校の子供たちの様子をちよつとのぞいてみましょう。()

「劇」その1 (6年生)

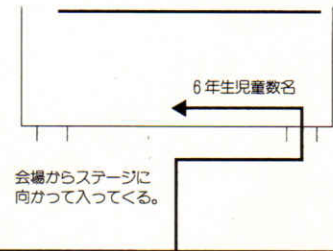
- ◇登校前
- () 「お~い、〇〇ちゃん、がっこうへいくよ！」
 - () 「ほれ、早くしたくしなきゃ、〇〇ちゃんまってるよ。」
 - () 「はーい！」
 - () なんて言ったかどうかは分かりませんが、時は明治28年常呂小学校の輝かしい幕開けです。
- ◇学校までの道すがら
- () 「ねえ、今日何してあそぶ？」
 - () 「そうね。でも遊びもいいけど、忘れ物してない？ 〇〇先生、おつかないよ。大丈夫？」
 - () 「大丈夫よ。一生懸命勉強しなくちゃね。」
- ◇学校にて
- () 「先生、おはようございます。」
 - () 「おはよう。今日も元気かい？」
 - () 「はい、とても元気です。」
 - () 「そう、それは良かった。さあ、1.時間目の勉強を始めるぞ。」
 - () 「算術ですよ。」
 - () 「そう、さあ、そろばんを出して、ねがいましては1円なり・・・。」
- ◇学校帰りにて
- () 「先生、さよなら。」
 - () 「〇〇ちゃん、今日もいっぱい勉強したね。」
 - () 「いっぱい遊びもしたね。」
 - () 「早く明日にならないかな。」
 - () 「どうして？」
 - () 「だって、学校って楽しいんだもん。」
 - () こうして小学校の一日は過ぎていくのでした。

児童代表

CD子供の歓声

ステージにて劇

登校前



鐘の音

学校にて



鐘の音
照明 赤
からすの鳴声

学校帰り



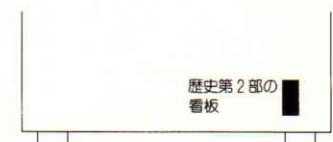
アドリブで台詞を入れても良い。



(3) 『常呂小の歴史』 (第二部)

- ・その後、子どもの数もだんだんふえてきました。()
- ・明治38年になって、()
- ・常呂尋常小学校と名前が変わりました。()
- ・また、大正6年には現在の場所に新しく学校ができ()
- ・170人ものお友達があたらしい学校に通うことになりました。()
- ・ところで、みなさん、()

3年生

CD
「なつかしい童謡など」



<ul style="list-style-type: none"> ・電気や電話が使えるようになったのはいつごろかごぞんじですか。() ・電気が使えるようになったのが大正6年() ・電話は大正15年になってからでした。() ・そのころは、大雨や日でりの被害をうけ() ・勉強どころではなかったこともあったそうです() <p>合唱「もみじ」(全校合唱)</p>	<p>照明暗転</p> <p>暗転後、ピアノ伴奏のち歌 ピアノ(平野T)</p>	
<p>(3)『常呂小の歴史』(第三部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和16年、尋常小学校から() ・国民学校へと名前が変わりました。() ・この年、太平洋戦争が始まり、() ・日本全体が戦争一色へ変わっていくのです。() ・常呂小学校でも、() ・農業や漁業の手伝いや、() ・防空壕を掘るなど、() ・戦争に協力することがありました。() ・激しかった戦争も、() ・広島、長崎の原爆投下の後、() ・ようやく終わりました。() ・昭和20年8月15日のことでした。() 	<p>4年生</p> <p>ナレーション 常呂の昔を知る 古老にインタビューしたものを流す。</p>	
<p>(3)『常呂小の歴史』(第四部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が終わり平和が戻ってきた頃、() ・国民学校から常呂小学校へ名前を変え、() ・新しい時代へと幕を開けました。() ・常呂の町に鉄道が開通し、() ・常呂町の人口もぐんと増えはじめます。() ・何と、その数1万人を超えたこともありました。() ・昭和30年頃には、() ・17学級、801人もの児童数になり、() ・体育館を仕切って教室にしたり、2部授業にしたりといろいろな苦勞がありました。() ・昭和30年8月、木造の新校舎が落成() ・合わせて開校60周年を祝う会も開かれました。() ・しかし、残念ながらこの頃から常呂町の人口は減り始め、() ・常呂小学校の児童数も() ・少しずつ少なくなっていました。() <p>*「常呂音頭」・・・踊り(5年生)</p>	<p>5年生</p> <p>ナレーション () CD 「汽笛、走る音」</p> <p>指導…小林先生</p>	

- (5)『常呂小の歴史』(第五部)
- ・時代は流れ、()
 - ・常呂町が生まれて100年()
 - ・そして常呂小学校も90才()
 - ・その後、高知県佐川町との姉妹町交流()
 - ・カナダのパーヘッド町との交流がはじまり、()
 - ・国内だけでなく、外国にも()
 - ・たくさんの友達を作るきっかけができました。()
 - ・常呂小学校では、()
 - ・昨年、この新しい体育館が完成し()
 - ・開校百周年を迎える準備が着々と進んでいきました。()

6年生

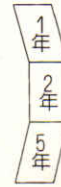
音楽

- (6)これからの常呂小学校
- ・今年、常呂小学校は100才。(全校児童)
 - ・ぼくたち(1年生男子)
 - ・わたしたちの(1年生女子)
 - ・成長を見守り、育ててくれた100年。(4年生)
 - ・明るい未来へむかって(2年生)
 - ・たくさんのおにいさん(1年生男子)
 - ・おねえさんが学んだこの学校で(1年生女子)
 - ・これからも一生懸命(3年生)
 - ・いろいろなことを学びます。(2年生)
 - ・夢と、希望にあふれた素敵な学校(6年生)
 - ・何事にも頑張り続ける(4年生)
 - ・光り輝く子ども達がいっぱいいる学校(5年生)
 - ・それがこれからの常呂小学校の姿です。(全校児童)
 - ・雄大なオホーツク海(6年生男子)
 - ・緑豊かなこの大地(6年生女子)
 - ・すばらしい自然環境のなかで(4年生)
 - ・空高くはばたくぼくたち(3年生男子)
 - ・わたしたちを(3年生女子)
 - ・いつまでも見守ってください。(2年生)
 - ・心のふるさと常呂町(全校児童)
 - ・そして常呂小学校の夢いっぱいの未来へ向けて(全校児童)
 - ・いま、新しい一歩を踏み出します。(全校児童)

校歌
(イージーリスニング編)



吹奏楽部



客席

(合唱)「歌はぼくらのともだち」

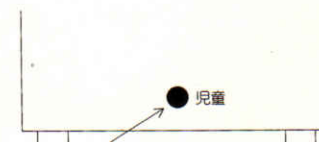
歌はぼくらのともだち～パート
 [高音部～3年・4年・6年]
 [低音部～1年・2年・5年]

児童代表終わりのあいさつ()
 今日は百周年の記念式典においでいただき、
 ありがとうございました。これからのぼくたちの
 活躍にご期待ください。

(吹奏楽部伴奏)



アレンジすること



照明暗転
 挨拶終了後照明明
 転